【南海電気鉄道　健康経営戦略マップ】

健康課題

【生活習慣病】
- 肥満率が世間平均よりも高い
- 血圧リスク者が一定数存在している
- 血圧治療者のうち血圧コントロールが不十分な者が一定数存在している
- 血糖リスク者及び糖尿病管理不良者が一定数存在している
- 飲酒習慣は現状維持を継続していく必要がある
- 運動習慣は世間平均と同程度だが、肥満率低下のためにさらなる改善を目指す

【喫煙】
- 喫煙率が世間平均よりも高い

【睡眠】
- 問診で「睡眠により休養がとれている」と回答する割合がある程度にとどまる
- SAS患者（運転士）がある程度存在する

【女性の健康】
- 「女性特有の疾病予防」や「健康課題に関する啓発」の強化が必要である
- 諸症状に悩んだまま仕事をする社員がいる

【メンタルヘルス】
- 高ストレス率が上昇傾向にある
- 高ストレス職場が一定数存在する
- 精神疾患による休業日数が増加傾向にある

【長時間労働】
- 事業特性上、時間外労働が多い
- 年次有給休暇の取得率を高水準で維持していくことが必要である

健康投資（施策）

全従業員向け施策
- 定期健康診断の受診徹底
- 人間ドックの費用補助（健保＋福利厚生）
- 健保の生活習慣病健診・郵送がん健診の利用拡大
- 健康に関するセミナーの開催・社内誌による啓発
- 職場への血圧計の配置・活用
- 運動習慣醸成に向けたイベントの開催

リスク者向け対策
- 健診結果に基づく産業医の受診勧奨と受診率向上
- 健保による特定保健指導の強化

喫煙対策
- 健保による禁煙外来受診の費用補助
- 喫煙所の見直し等

睡眠対策
- 夜間勤務や宿泊勤務の減少
- SAS患者（鉄道運転士）への支援強化
- 仮眠室の個室化

女性特有の健康課題対策
- 健保の生活習慣病健診の女性専用検査項目の利用促進
- 女性の健康セミナーの開催
- 女性特有の健康課題に関する相談窓口の設置・周知

メンタルヘルス対策
- メンタルヘルス研修（セルフケア・ラインケア）
- 集団分析結果に基づく高ストレス職場へのフォロー
- 指定精神科医によるカウンセリングの活用
- 外部相談窓口の利用促進

長時間労働対策
- 長時間労働者への産業医面談（法律を上回る基準で運用）
- 時間外労働の削減（働き方改革の推進）
- 年次有給休暇の取得促進

健康投資効果

健康投資施策の取組状況に関する指標

- 定期健康診断の受診率
- 人間ドックの受診率
- 生活習慣病健診の受診率
- 郵送がん健診の利用者数
- セミナー回数・啓発活動回数
- 有所見者の受診勧奨人数
- 特定保健指導の実施率
- 禁煙外来の費用補助利用者数
- SAS患者数（鉄道運転士）
- 夜間勤務や宿泊勤務の減少率
- 女性専用検査項目の利用者数
- 女性の健康セミナーの参加人数
- 相談窓口の相談件数
- メンタルヘルス研修の受講者数
- ストレスチェック受検率
- 高ストレス職場の数
- 外部相談窓口の相談件数
- 産業医面談人数
- 長時間労働者へのフォロー数
- 平均時間外労働時間

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

- 定期健診有所見者率の低下
- 傷病休業率の改善
- 飲酒習慣者の割合の減少
- 運動習慣者の割合の増加
- 受診勧奨後の受診率向上
- 特定保健指導の実施率向上
- 喫煙率の低下
- 問診で「睡眠により休養がとれている」と回答する割合の向上
- 女性特有の健康課題に対する理解度向上
- 集団分析結果の各指標の改善
- 時間外＋休日労働の減少
- 年次有給休暇取得率高水準の維持

健康関連の最終的な目標指標

身体的健康
- 適正体重維持者の増加
- 血圧リスク者の減少
- 血糖リスク者の減少
- 脂質リスク者の減少

こころの健康
- 高ストレス率の減少
- メンタルによる休業者数の減少
- 高ストレス職場の減少

アブセンティーイズム（※1）の低減

プレゼンティーイズム（※2）の低減

ワークエンゲージメント（※3）の向上

※1）病欠、私傷病休職の状態
※2）何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態
※3）仕事への活力・熱意・没頭

健康経営で解決したい経営課題

一人ひとりが能力を発揮できる職場・ひとづくりの実現（サステナブル重要テーマ）